

アクシデント 報告書

ZIPLINE ADVENTURE NETWORK

ZIPLINE安全向上のためご報告よろしく申し上げます。

どんな些細なことでもガイド全員で情報共有したいと考えております。

コース	年月日	発生時間	発生場所	報告者
立山	2012・5・24	8:00便、特別便	No6	赤川
気象状況 その他状況	晴れ 修学旅行生(中学生)がプーリーにズボンの裾が巻き込み停止。			
内容	中学校の修学旅行の体験中、No6ラインで後ろ向きスタートをしたところ、ガイドを真似て逆立状態になろうとしたところ、ジャージのズボンの裾がプーリーに巻き込み、スタート台から3mほどで停止した。ズボンの裾がプーリーから外れたので自力でスタート台までもどり再開した。スタート直後のアクシデントだったので大きな事故には、繋がらなかったが、逆さ状態のままランディングした場合を想像すると大きな怪我に繋がる可能性がある。			

ZIPLINE ADVENTURE NETWORK 所見

関 & 小林

3mで停止、大事にならなくて良かったです。

立山のNo6・・・10m行ってしまっていたら高さ20mの高度での救助作業・・・恐ろしいおっしゃるとおり、若者団体は、**テンションがあがり、飛び込みや今回のような逆立ちのフライトをしたがります。** 斑尾でも実際やっていますが怖いと感じていました。

ガイドが見せているからです。

ハイテンションに加え若者はとつても体がききますので思いもよらない事が起こる可能性があります

この情報を受けて 斑尾では以下の様にしました。

1, ガイドは姿勢が横になる・回転するぐらいで大きなアクションは見せない→ 逆立ちしない。

2, 生徒にも大きなアクションをさせない ★もちろん飛び込みスタートも禁止

逆立ちしなくても、生徒にとっては十分楽しい体験です。

多くの修学旅行のしおりには「自然とふれあう」という目的が書かれています。

この辺を我々のツアーで提供できるようにしたいものです。

